

吉田守伸さんが交通安全栄章「緑十字金章」を受賞

能美交通安全協会連合会会長として尽力

1月15日、吉田守伸さん（寺井町）が交通安全功労者として交通安全栄章「緑十字金章」を受賞されました。



吉田さんは旧寺井町から交通安全協会代議員として尽力され、現在は能美交通安全協会連合会会長を務められています。長きにわたる活躍された功績が認められ受賞となりました。

佐々木さんが日本菊花全国大会防衛大臣賞受賞

日本菊花会主催高松宮妃記念杯

2月6日、佐々木照男さん（西任田町）が市役所を訪れ、高松宮妃記念杯2024年日本菊花全国大会防衛大臣賞の受賞を報告されました。

受賞した佐々木さんの菊は、三本立単鉢の部（同じ種類の菊が1つの鉢に3本）、「泉郷千里眼」という品種で、

白くて細い花弁が大きな花火のようになっています。

佐々木さんは毎年3月ごろから挿し芽をし、水やり、肥料、消毒などの世話をして菊を育てられています。



防衛大臣賞の菊



佐々木さん（左）と井出市長

能美市長選挙・能美市議会議員補欠選挙の結果

2月2日執行 無投票

能美市長選挙

井出 敏朗（無所属）

無投票

任期…令和7年2月27日～令和11年2月26日



能美市議会議員補欠選挙

中野 廣志（無所属）

無投票

任期…令和7年2月3日～令和7年10月31日



当選証書付与式

能美市長選挙・能美市議会議員補欠選挙

2月4日、市役所で能美市長選挙及び能美市議会議員補欠選挙の当選証書付与式が行われました。

能美市選挙管理委員会の安井昭夫委員長から「市民の期待に応え、尽力してほしい」と激励の言葉を授けました。



井出さん（前列左）、中野さん（前列右）と、選挙管理委員（後列）

令和7年の町会長・町内会長が決定

まちづくりの要として活躍されています

地域の世話役として、また住民の皆さまと市役所を結ぶ大切なパイプ役として活躍されている町会長・町内会長は、まちづくりをよりスムーズに進めていく上で、要となる方々です。

今年お世話いただく各町会長・町内会長のお名前を掲載します（敬称略）。

委員の任期満了に伴い、2月4日、能美市選挙管理委員会が開催され、委員長に安井昭夫さん、委員長の職務代理者に中川和信さんが選出されました。

任期は令和7年2月4日～令和11年2月3日です。

◆選挙管理委員（敬称略）  
安井 昭夫（松が岡）  
中川 和信（東任田町）  
林 雅子（中町）  
亀田 洋子（大浜町）

能美市町会連合会総会

新会長に村上信男さん 退任者19名に感謝状

2月13日、辰口福祉会館で、能美市町会連合会総会を行いました。

また総会の席上で2年以上町会長・町内会長を務められ、今回、退任された19名の方に井出市長から感謝状と記念品が手渡されました。



総会であいさつを述べる村上新会長

町会・町内会	氏名	町会	氏名	町会	氏名
赤井町	北野 実	佐野町	宮本 肇	倉重町	南 彰
西任田町	杉森 英信	泉台町	山本 正弘	出口町	加藤 高明
五間堂町	角越 茂樹	湯谷町	北村 修一	辰口町	畔田 保之
中庄町	竹島 雄司	石子町	前多 俊彦	湯屋町	木道 克磨
福岡町	根角 眞佐義	末寺町	橋本 庄哉	上徳山町	西出 良弘
西二口町	中田 一宏	秋常町	小坂 幹雄	下徳山町	中谷 敬二郎
中ノ江町	古屋 和博	新保町	南 英昭	上開発町	辻 進
高坂・根上町	中田 平喜	粟生町	荒木 欣二	下開発町	中 俊弘
下ノ江町	金子 堅司	三道山町	畑下 栄二	徳久町	田中 博文
浜開発町	山岸 徹	吉光町	宮口 昌尚	荒屋町	中 憲一
大成町	原 輝夫	東任田町	佐々木 忠	高座町	松田 伸明
福島町	渡辺 正幸	緑町	木津 衛	下清水町	松本 勝
吉原町	久田 与俊	和佐谷町	安田 巖	上清水町	朝山 進
吉原釜屋町	北村 信也	岩本町	大谷 信之	北市町	高木 雅一
大浜町	中村 茂	灯台笹町	高 良隆	和気町	村井 邦浩
中町	玄田 秀昭	大口町	瀧上 秀明	和光台	森田 将嗣
浜町	中村 進	宮竹町	山本 克樹	寺畠町	成瀬 雄
道林町	徳田 彰	三ツ口町	村上 信男	館町	西 和宏
山口町	宮村 憲司	長滝町	中出 悦男	金剛寺町	河上 博
寺井町	北野 勉	筋生町	元村 紀人	坪野町	高田 浩
小長野町	東 誠孝	岩内町	村田 耕太郎	鍋谷町	森 圭一
大長野町	西田 耕平	火釜町	喜多 邦夫	仏大寺町	田中 実
小杉町	田上 清一	来丸町	北出 秀樹	緑が丘	南部 隆雄
末信町	中西 幸一	山田町	村瀬 直樹	松が岡	久保 茂紀
牛島町	和田 憲光	三ツ屋町	中 道雄		



## 文化財防火デーに伴う火災防ぎよ訓練

災害時 市文化財も取り残されない



神社境内での各隊による一斉放水

1月19日、宮竹町日吉神社で文化財防火デーに伴う火災防ぎよ訓練を実施し、宮竹町自衛消防団、市消防団、市消防本部が参加しました。

日吉神社の本殿から火災が発生した想定で、市の文化財である史跡

名勝天然記念物の社叢に延焼させないために、ドローンの空撮による延焼状況の把握や各隊の包囲戦術による消火活動を行いました。一挙火勢鎮圧を図るため各隊が連携し、安全・迅速な火災防ぎよ活動を実施しました。

## 市出身の自衛隊入隊予定者を激励

国の安全と平和に向けて活躍を期待



左から南家族会会長、井出市長、坂田さん、梶川本部長

2月8日、令和6年度自衛隊に入隊予定の坂田涼香さん（寺井町）が根上総合文化会館を訪れ、入隊激励会が行われました。

井出市長、梶川裕自衛隊石川地方協力本

部長、南敏幸能美市自衛隊家族会会長からの激励を受けた坂田さんは、本年度唯一の市出身入隊予定者として、今後の国の安全と平和に向けた活躍が期待されます。

## 「八重洲いしかわテラス」で能美市をPR

九谷焼と美味しいものフェア



2月7日から9日まで、八重洲いしかわテラス（東京都）で「九谷焼と美味しいものフェア」を行いました。九谷焼や特産品、物産フェア、試食会、特別カプセルトイレの設置、ノベルティの配布などを行い、多くの方が訪れました。

## まなびフェスタ2025

知るわかる小さな喜びがそこにある

2月16日、市内3施設で「まなびフェスタ2025」を開催しました。

この催しは市民がお互いに話し合い、学び体験する中から新しいまちづくりが推進されることを目的に実施しています。

寺井地区公民館では、「能登半島地震の避難所運営」についての分科会、辰口福祉会館では、「65歳からの新しい生きがい発見」など5つの分科会や、国際交流、まちゼミお話し体験講座も開催され、各会場は多くの市民で賑わいました。

まなびフェスタ



生きがいについて学ぶ参加者

## 市内小中学校の給食に特別栽培米を使用

環境保全型農業への理解を深める



和気小5年1組の児童に特別栽培米の話をする竹本さん

1月23日、24日、27日、28日の4日間、市内小中学校の給食で特別栽培米が使用されました。

特別栽培米は化学肥料・化学農薬の使用量を半分以下にし、自然由来の肥料などを組み合わせて作られたお米で、環境保全型農業へ

の理解促進を目指し、石川県が県内全19市町と連携し実施しました。今年度は旬たけもと農場の特別栽培米が使用され、竹本さんが24日湯野小、27日和気小、28日福岡小を訪問し、各校の5年生に特別栽培米のお話しをしていただきました。

## スポーツ教室「寺田明日香選手と走ろう！」

東京五輪代表による陸上教室

1月26日、物見山総合体育館で陸上教室「寺田明日香選手と走ろう！」を開催しました。

最後には寺田選手を交えたリレーが行われ、

会場は大いに盛り上がりました。



高校生と陸上教室の打合せをする寺田選手



小中学生に指導する寺田選手

## 祝百寿 おめでとーございます

いつまでもお元気で お祝い状と記念品を贈呈

1月6日、西幸子さん（徳山町）がめでた

く100歳を迎えられました。



西さんは孫が6人、ひ孫が13人おり、カラオケが好きで、お孫さんの結婚式で披露したことがあります。

長寿の秘訣は「長生

きしようという気持ちをもつこと」と話されました。家族みんなと一緒に元気に過ごしたいという気持ちで日々過ごしており、100歳の誕生日もご家族そろってお祝いされました。

西さん

1月11日、小村ふみさん（宮竹町）がめでたく100歳を迎えられました。

小村さんは加賀でまりづくりが趣味で、ご自宅には手作りの作品がたくさんあります。

また家庭菜園をされて

いました。長寿の秘訣は「我慢しないこと、食事をしっかりすること」と話されました。現在もたくさん食べて、元気に過ごされています。



小村さん

1月21日、吉岡藤雄さん（福島町）がめでたく100歳を迎えられました。

吉岡さんは現役時代は会計事務所勤務、80歳から98歳ごろまでは、お米を作っていました。

吉岡さんは「現在もできることは一生懸命して過ごしている」と話されました。

吉岡さん

